

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
 (令和8年5月解析分)

1 今月のトピックス

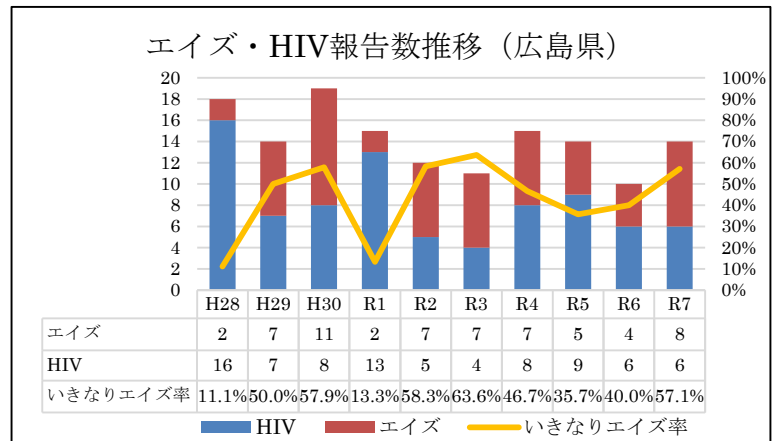
(1) 6月1日(月)から6月7日(日)は「HIV検査普及週間」です

広島県 HIV・エイズ [検索](#)

県内の令和7年の新規エイズ患者数は8人(前年比+4)、新規HIV感染者数は6人(前年比±0)でした。依然として、いきなりエイズ率が高い状況が続いており、HIVやエイズに関する正しい知識と適切な検査の実施が重要です。また、検査件数については新型コロナウイルス感染症の流行前の水準に回復しています。

HIVに感染しても自覚症状のない時期が数年間続くことが知られています。その間に感染を発見し治療することで、エイズ発症を予防したり、遅らせたりすることが可能です。

保健所検査や日曜検査、クリニック検査など、利便性の高い場所や時間帯に配慮した検査を実施しており、広島県のホームページから日程等を確認できます。検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検してください。(※保健所検査については、梅毒検査も併せて実施しています。)



予防のポイント

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)は、感染力が弱く性行為以外では日常の生活の中で感染する心配はありません。

正しい知識を持って、しっかりと対策をしましょう!

- 1) 性行為(精液・膣分泌液): 感染者との無防備な性行為は感染の可能性が高い
 - ・性交・オーラルセックス(口腔性交)の際は、必ずコンドームを使う
 - ・性器具の共用をしない
- 2) 血液を介して: 血液にふれることや、血液が体内に入ると感染の可能性が高まる
 - ・注射器具の共用をしない
- 3) 母親から赤ちゃんへ(母子感染): 妊娠中・出産時・授乳などによって子どもに感染することがある
 - ・予防措置[服薬、帝王切開、人工栄養(粉ミルク)での養育]を行う

(2) 令和8年度からRSウイルス母子免疫ワクチン定期接種が実施されています

令和8年4月から、RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種が始まりました。ワクチンを妊婦に接種することで、RSウイルスに対する抗体が母体で作られ、抗体が胎盤を介して胎児に移行し、新生児や乳児における、RSウイルスを原因とする下気道疾患を防ぐことができます。接種対象者は、妊娠第28週0日から妊娠36週6日までの方(接種する日の妊娠週数を基準とします)で、接種回数は1回、接種費用は無料です。

詳細は、お住いの市町へお問い合わせください。



広島県感染症・疾病管理センター
 ホームページ
 RSウイルス母子免疫ワクチンについて

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年4月分(令和8年4月6日～令和8年5月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	17,292	46.61	-	→	11	突発性発しん	42	0.19	0.26	↗
2	インフルエンザ ※3	323	0.87	1.38	↓	12	ヘルパンギーナ	45	0.20	0.08	↑
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	249	0.67	-	↗	13	流行性耳下腺炎	4	0.02	0.03	↓
4	RSウイルス感染症	107	0.48	0.86	↗	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	咽頭結膜熱	88	0.39	0.39	↗	15	流行性角結膜炎	32	0.42	0.56	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	616	2.75	1.29	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	感染性胃腸炎	995	4.44	5.87	↘	17	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
8	水痘	60	0.27	0.08	↗	18	マイコプラズマ肺炎	16	0.20	0.07	↘
9	手足口病	49	0.22	0.20	↑	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	14	0.06	0.09	→	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.10	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年4月分(4月1日～4月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	90	4.09	3.15	→	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	74	3.70	3.24	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	20	0.91	0.86	↗	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.09	
23	尖圭コンジローマ	14	0.64	0.89	→	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
24	淋菌感染症	31	1.41	1.25	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	手足口病	(0.03 → 0.22)
	ヘルパンギーナ	(0.03 → 0.20)
○急減疾患	インフルエンザ	(9.02 → 0.87)
	流行性耳下腺炎	(0.04 → 0.02)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内153の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	36	56	19	22	20	153

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	40	結核(40)〔西部東保健所(5)、東部保健所(7)、北部保健所(1)、広島市保健所(12)、呉市保健所(3)、福山市保健所(12)〕
三類	14	腸管出血性大腸菌感染症(14)〔西部保健所(3)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(5)、福山市保健所(4)〕
四類	10	E型肝炎(3)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、広島市保健所(1)〕 レジオネラ症(5)〔東部保健所(2)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(2)〔呉市保健所(2)〕
五類	45	ウイルス性肝炎(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔東部保健所(1)〕 クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔福山市保健所(1)〕 バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔呉市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)〔西部保健所(1)、広島市保健所(2)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔呉市保健所(1)、福山市保健所(2)〕 水痘(入院例)(1)〔東部保健所(1)〕 播種性クリプトコックス症(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(16)〔西部保健所(1)、広島市保健所(10)、呉市保健所(2)、福山市保健所(3)〕 百日咳(14)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(9)〕